



国際ロータリー第2530地区 東北第一分区  
**福島南ロータリークラブ会報**

事務局連絡先 024-546-3793

第40回例会

2021.5.12

会員 73名中 49名出席 67.12%  
修正 56人 76.71%  
メイクアップ 7名

国際ロータリー会長 ホルガー・クナック Holger Knaack

国際ロータリー第2530地区ガバナー 石黒 秀司

福島南ロータリークラブ 会長 松崎 弘昭

標語「後から来る者の種火となって共に熱く燃えよう」

例会会場連絡先/クーラクーリアンテナパレス TEL 024-523-3811 毎週水曜日 12:30~

◆会長挨拶 松崎 弘昭 会長



春の佇まいも薄れて、5月の晴れ渡る空を眺めていると翩翩（へんぽん）とひるがえる鯉幟は、夏を迎える旗印として夏の近さを感じさせてくれます。このような折角の気持ちの良い季節なのに、新型コロナウイルスは、未だにその収束の兆しが見えないばかりか、変異を繰り返し、全国的な拡大をみせているようであります。東京オリンピックも開催まで後71日となりましたが、本当に開催できるのか不安で一杯であります。

さて、昨日のことで、地区ガバナーから福島県が5月8日から5月31日までを緊急特別対策実施期間としたことを受けて、飲食を伴う会合の開催について注意喚起の通知が届きました。そのため、今日の例会はプログラムの内容を大幅に変更し、時間短縮をするともに食事についても持ち帰っていただくためのお弁当に変更させて頂きました。会員皆様には、何かとご不便をお掛けしますが、お許し頂きたいと思っております。

今後の例会の運営については、この後の理事会で審議し、決定次第皆様にお知らせさせて頂きます。

ところで、今脅威となっている変異型ウィルスは専門家の間ではウィルス遺伝子のコピーミスによって起きたものと言われておりますが、私は違うと思います。ウィルスは生き延びて行くために多種多様な形に自らが積極的に変化を起し、その時の環境にあったウィルスだけが生き延びるといったごく自然の進化を続けているのだと思います。

私たち人間は、科学技術と医療の発達により、ワクチンを作るなどウィルスに対抗する多くの手立てを獲得してきました。しかし、科学と医療の発達は同時に、そこに依存することで、人間が本来持っている自然治癒力というか免疫力を弱めてしまっているような気がしてなりません。

このコロナ危機においても、科学や医療の力を借りるのは当然のことと思いますが、同時に、そもそも備わっていたはずの免疫力とか自然治癒力との合わせ技で対応していかなければ科学や医療の力も半減してしまうのではないのでしょうか。

そのことを考え、会員の皆様方には規則正しい生活に心掛け、ワクチンの効果が最大限に発揮できるように精神と体のバランスを整えたいと願っています。

この後、すぐに、先ほど紹介させて頂きました我妻信男様からスピーチを頂きますので宜しくお願いいたします。

次回6月2日(水)第43回例会プログラム

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| 1. 開会点鐘             | 2. ロータリーソング     |
| 3. 四つのテスト           | 4. 会長挨拶         |
| 5. スマイルBOX報告        | 6. ロータリーの友読みどころ |
| 7. 誕生祝い             |                 |
| 8. ゲストスピーチ (畠 利行 様) |                 |
| 9. 幹事報告             | 10. 閉会点鐘        |

【例会予定】

- 5月19日(水) 第41回例会 **中止**  
5月26日(水) 第42回例会 **中止**

【地区・分区・その他関連行事】

- 5月14日(金) 福島21RC創立20周年記念式典  
5月15日(土) 新規米山奨学生とカウターのためのリエンション  
5月16日(日) 地区研修協議会 会長会、全体会議、分科会



◆ゲストスピーチ 福島県暴力追放運動推進センター 事務局長兼業務部長 我妻 信男 様

【クラブフォーラム】(青少年奉仕委員会企画で)



令和3年5月は、国際ロータリークラブ 月間テーマ 青少年奉仕月間から「**少年を暴力団から守るために**」というテーマで、**我妻 信男 様**にゲストスピーチいただきました。

いわき市出身で42年間勤務された福島県警を退職された後、現在は、公益財団法人福島県暴力追放運動推進センターで事務局長兼業務部長として活躍されております。今回の「少年を暴力団から守るために」のスピーチから

◀暴力団勢力▶

令和3年1月1日現在の暴力団勢力は、36組織、約460人となっております。県内での勢力分布状況は、山口組が約3割、稲川会が約3割、住吉会が約3割、その他松葉会などが約1割となっているようです。

私たちが住む東北地区に限っては、六代目山口組が大きな勢力となっているようです。

◀少年を暴力団から守るために▶

暴力団は、組織勢力の維持、拡大を目的として、少年を組織に勧誘 暴力団は「犯罪集団」であり、簡単に組抜け(脱退)出来ない  
➡大人は子供を守って育て、将来は人の役に立つ人間にする。

暴力団対応5則(少年を守るため)

- ①誘いには乗らない ②話は信用しない ③話には応じない  
④話にはすぐ返答しない ⑤誘われても絶対について行かない

少年を暴力団から守るための法的対策(少年に対する禁止行為)

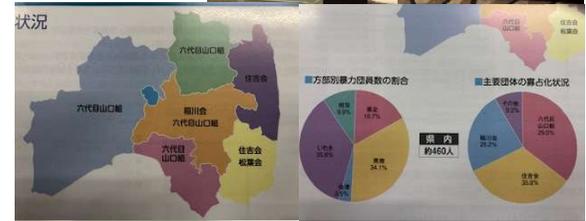
暴力団対策法で禁止している27の禁止行為

◀不当要求対応12則(結び)▶

【特に注意】⑧トップは対応させない



迷わず・恐れず 警察、暴追センターへご相談を!



我妻様、普段は聞けない情報など、貴重なお話ありがとうございました。

◆誕生祝い(5月生まれ)

親睦活動委員会

お誕生日おめでとうございます♪

- |                     |                     |                     |
|---------------------|---------------------|---------------------|
| 斎藤 ミヨ 会員 (S13.5.29) | 高橋 和之 会員 (S17.5.17) | 植木 洋司 会員 (S18.5.23) |
| 高橋 正一 会員 (S20.5.14) | 高橋 実 会員 (S24.5.6)   | 藤原 和雄 会員 (S25.5.24) |
| 廣澤 俊樹 会員 (S30.5.6)  | 伊藤 弘子 会員 (S34.5.5)  | 木村 昇 会員 (S42.5.30)  |

